※令和４年度以降入学生用

学校番号	3004

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校美術　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術を起点とし、想像力や感受性を豊かにし、アイデンティティの確立を手助けすると同時に他者への関心理解を深めることを目指します。
・中には描く事や作る事に苦手意識を感じる人もいるとは思いますが、この美術では作品の完成度よりも授業の中で何を感じ、どう学んだかを重視し、新たな感性の発見と個性の確立を１番の目標にしています。一緒に楽しみながら創作活動に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

⑴ 美術の幅広い活動を通して自己の感性を高め、創造的な表現の楽しさを学ぶ。また、発想や構想に関する資質や能力を養う。
⑵ 感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成し、特性を生かして表現する力を身に付ける。
⑶ クラスメイト間で作品についてお互いの意見を共有し、他者の作品の良さを発見すると共に意見を素直に受け入れ視野を広げようとする態度、また主体的に制作や発言をしようとする前向きな姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・また､創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を模索し挑戦している。	・感性や想像力を働かせて、自分で感じ取ったことや考えたことをもとに、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 ・自己を表現するときに自分に合った方法を考えながら工夫している。	・美術の創造活動の喜びを味わいながら、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現および鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	描く本	1. デッサンを知る ・基本的な形の描き方を文章や写真を見比べながら理解する。 2. 描写 ・繊細なタッチで描き込む。ここでよく写真を観察し、物が持つ特徴や質感捉えながら物体のバランスにも注意する。 3. 鑑賞 ・お互いの完成作品を鑑賞し、作者の心情や表現の工夫、力を込めた点などを共有する。	a：鉛筆の特性を理解し、陰影の濃さやタッチを意識して描いている。形や色彩、材質や光によって見え方が変わる造形的特徴を捉え、作品全体のバランスを考えている。 b: 対象を見つめて形体の特徴をつかみ、構成などを工夫して用具の特性を生かしている。造形的な見方を働かせながら、対象の色や形の面白さ、質感などに内在する美しさを感じ取り創造的に表現している。 c:主体性を持って意見交換や鑑賞に取り組んでいる。他の生徒の作品を見て、作品の良さを感じ取り、表現への理解を深めている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 授業態度

※令和４年度以降入学生用

2学期	バンクシー	1. 鑑賞 ・バンクシーの作品群をスライドショーで何点か鑑賞する。その時作品に込められた意味や表現方法を知りバンクシーについて理解を深める。 2. 記入 ・ワークシートの空欄の中にバンクシーについて学んだ知識をもとに答えを正確に書き込む。 3. 感想を書く ・バンクシーの作品を通じて自分で感じたこと、考えたことをワークシートに細かく書く。 3. 制作 ・学んだバンクシーの作品をChromebook の描画キャンバスというツールで描く。この時独自の発想力と個性を生かし自分のアレンジを交えて制作する。 4. 鑑賞 ・お互いの完成作品を見比べて自分と他者の作品の良さを実感する。	a:バンクシーについて学んだ知識を生かし、正しい答えを記入している。上手く描画キャンバスの描画ツールたちを使いバンクシーの絵画のシルエットを忠実に再現している。 b:造形的な見方を働かせながら、オリジナリティを発揮して創造的に表現している。 他の生徒の作品を見て、その作品の良さを感じ取り、自分の表現を深めている。 c:作家に興味や関心を持って鑑賞、プリントの記入を行っている。集中して作業に取り組んでいる。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	ワークシート 授業態度

※令和４年度以降入学生用

	トランププリント	1.　説明 ・プリント制作の説明を聞く。トランプについて知識を深める。 2. 構想を練る ・作品の完成イメージを明確に持ち、造形的な視点を大切にしながら構想を練る。 3. 制作 ・造形的な見方を働かせながら、用具の特性を生かした表現を創造的に表現する。制作途中に、相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の作品を見つめ直す。 4. 鑑賞 ・お互いの完成作品を見比べ、工夫した箇所を共有する。	a:物の特性を理解し、トランプとして成り立つようデザインしている。自分の中の作品のイメージをしっかり再現している。 b:感性を働かせ自分だけの表現を追求している。色彩を利用して全体的に見映えよく仕上げている。 c:制作における工程を主体的に理解し、妥協することなく集中して創作活動を行っている。	提出作品	提出作品	授業態度

※令和４年度以降入学生用

3学期	シーサー	1. 説明 ・これから目指す作品制作のための参考作品を鑑賞し、自分の中でどのように進行し作り上げるか想像する。 2.シーサーについて知る ・chrome book でシーサーについて検索し、語源や概要、もとのモチーフを知る。 3. デザインする ・主題から発想を広げ、作品形態や表現方法など造形的視点を大切にしながらワークシートで構想を練る。 3. 制作 ・粘土を使って自由な発想でデザインしたシーサーの形を再現し制作する。材料の性質を理解し道具などを使って作業する。 4. 鑑賞 ・お互いの完成作品を見比べ感想シートにこれまでの感想と自分の作品、人の作品の良い点を書き出す。自分とは違うそれぞれの個性を理解する。	a:ワークシートにてしっかりとシーサーについて知識を深め理解し、それを文章化して上手くまとめている。形や色彩、材料の性質やそれらの造形的特徴を捉え、自分の作品のイメージを正確に表現している。作品の意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫している。 b:造形的な見方、考え方を働かせながら、感じ取ったことや考えたことを創造的に表現している。 c:感想シートにて自分の作業を振り返って成功した点、もっと工夫すれば良かった点などしっかり見つめ直している。授業中他者の作品に刺激を受けながら集中して作業に取り組んでいる。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	ワークシート 感想シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度